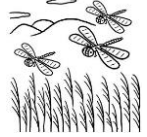




いつもであれば、澄み切った青空とさわやかな空気に秋を感じる頃なのですが、週末の度に訪れた台風や大雨により、全国各地で甚大な被害もたらされ、被災された地域の様子や人々の姿に心を痛めます。災害の犠牲となられた人々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願います。



運動会のアンケート結果

9月に実施した運動会ですが、今年の成果や課題を整理し来年度につなげていくために、子どもたちの感想や意見を聞くとともに、保護者のみなさんへのアンケートを実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。ここに、その結果の概要をお伝えします。

アンケートの回収率は、全PTA数の83%でした。満足度として、「よかった」「おおむねよかった」という回答が68%、「よくなかった」が15%、「どちらとも言えない」が17%という結果でした。また、感想やご意見として記述いただいたものとして、次のようなものがありました。

- ・ 年々暑さが厳しくなっていて、食中毒や熱中症の心配があるので、午前中で終わることはよい。
- ・ 短時間でもメリハリのある競技で、充実していた。子どもたちは、集中してよくできていた。
- ・ 開催がはっきりしないときでも、お弁当の心配をせずに準備することができた。
- ・ 子どもはお弁当を楽しみにしていて、一緒に食べたかったようだ。親も一緒に食べたかった。
- ・ 5・6年生は後片付けがあるので、弁当がないとかわいそう。
- ・ 子どもや家族にとって楽しみにしている行事のひとつであり、保護者・地域と一体となって盛り上げる運動会であってほしい。
- ・ 半日にするなら、PTAや地域の競技をなくす方が先で、子どもたちの方に時間をとってほしい。
- ・ 観客席の前の方でお菓子を食べている人がいた。子どもたちが食べられないのに。

持久走記録会

4月のPTA総会や「学校だより（第2号）」でお伝えしてきたように、昨年度からの学級減に伴う指導体制等にかかわって、学校行事のあり方について見直しを図っています。先の運動会もそのひとつですが、「マラソン記録会」についても様々な視点から検討を重ねてきました。

鈴鹿川の堤防を利用した「マラソン記録会」を実施するにあたっては、本番に向けた試走を行う際に、子どもたちの安全管理や記録の計測など、5～6名の職員をコースの要所に配置する必要がありますが、人数の少ない教職員の中で、これまでかなり無理をして実施していたところがあります。ところが、昨年度の「マラソン記録会」で、走っていた児童が体調不良を起こし、近くにいたPTA役員の方が気づいて、すぐに職員に伝えていただいたことで、大事に至らなかったという出来事がありました。記録会当日であったため、応援に来ていただいた保護者のみなさんの見守りがあり、PTA役員のご協力があったおかげでスムーズな対応ができた訳ですが、これがもし試走段階であったとすると、子どもの安全が確保できただろうかと不安になります。

このことを踏まえて、今年度から「マラソン記録会」ではなく、「業間かけ足」及び体育の授業のまとめとして、「持久走記録会」という形で実施することにします。鈴鹿川の堤防コースは利用せず、運動場の周回コースを利用して、「一定時間内にどれだけの距離を走ることができるか」を、記録として残していきます。タイムや順位を競うのではなく、「自分の目標とする距離を、どれだけ延ばしていけるか」をめあてに取り組みます。記録会当日は、これまでの「マラソン記録会」と同様に、保護者のみなさんに参観していただくことができます。どうか、こうした事情や経緯・趣旨等をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。



※ 持久走記録会 …… 12月4日（水）〔予備日：5日（木）〕